

答申書（案）の新旧対照表（第5回→第6回）

3. 今後の門真市における公立園の担うべき役割について	
③適切な対応や配慮を必要とする障がい児保育などを充実させるための先導的な役割	
新	<p>適切な対応や配慮を必要とする障がい児への保育においては、公立園と私立園とで本来、その役割は異なるものではなく、どの施設においても障がい児を含むすべての子どもに教育・保育を提供できる体制を整えることが必要である。</p> <p>しかしながら、現状では保育士の採用が困難な状況などにより、私立園では加配での対応が難しい園があることや、公立園においては公立施設であることも発達支援センターの利用者の見学を毎年受け入れており、私立園よりも比較的多くの見学者を受け入れていることなどから、1施設あたりの障がい児の受入人数は公立園の方が多い傾向にあり、公立園がセーフティネットの役割を担っていると言える。</p> <p>公立園では、幼稚園教諭や保育士の加配などにより対応しているが、近年、発達障がいや配慮を必要とする子どもが増加傾向にあると言われていたことから、今後は、私立園においてもより障がい児を受け入れやすい体制が構築されることが望ましい。</p> <p>そのためにも、障がい児の受け入れにかかる補助制度の見直しの検討や、公立園が今までに多くの障がい児を教育・保育する中で培ってきた経験の共有等を進められたい。また、子どもたちが専門職による適切な支援を受けやすい体制を構築するため、民間施設との連携をより深めていくなど、市全体の障がい児教育・保育の質を向上するための先導的な役割を果たされたい。</p>
旧	<p>昨今、保育士の採用が困難な状況などにより、私立園では加配での対応が難しい園があることや、公立園においては公立施設であることも発達支援センターの利用者の見学を毎年受け入れており、私立園よりも比較的多くの見学者を受け入れていることなどから、1施設あたりの障がい児の受入人数は公立園の方が多い傾向にある。</p> <p>このことから、公立園がセーフティネットの役割を果たしていると言えるが、近年、発達障がいや配慮を必要とする子どもが増加傾向にあると言われていたことや、本来、公立園と私立園とで障がい児の受け入れに係る役割は異なるものではないことを考慮すると、どの施設においても障がい児を含むすべての子どもに教育・保育を提供できる体制を整えることが必要である。</p> <p>今後は、私立園においてもより障がい児を受け入れやすい体制が構築されるよう、障がい児の受け入れにかかる補助制度の見直しを検討するとともに、公立園が今までに多くの障がい児を教育・保育する中で培ってきた経験の共有等を進められたい。</p> <p>また、さまざまな障がいへの支援において、民間施設との連携をより深め、子どもたちが専門職による適切な支援を受けやすい体制の構築を進めるなど、市全体の障がい児教育・保育の質を向上する先導役としての役割を果たされたい。</p>

※文章の構成を変更

4. 教育・保育の適正な提供体制について

②今後の方針について（浜町保育園部分）

新

まず、浜町保育園においては、仮設園舎での保育が時限的なものであり、施設環境をより保育に適したものへと改善することが難しいなど、最適な保育環境であるとは言い難く、今後の方針を早期に決定し、対応を進める必要がある。

市の財政が厳しく、公立園として新しい園舎を整備することが難しい状況にあることや、今後の北部地域における就学前児童人口の推移を考慮すると、**その方針としては定員規模を現在の浜町保育園より縮小しての民営化や他公立園との統廃合が選択肢として挙げられる。**

いずれを方針とするかは、今後地域の就学前児童人口の更なる減少が想定されていることや、地域の実情、民営化した際の在園児への影響、経営することとなる法人の負担、**統合した際の周辺地域への影響**などを勘案し、総合的な見地から決定されたい。

旧

まず、浜町保育園においては、仮設園舎での保育が時限的なものであり、施設環境をより保育に適したものへと改善することが難しいなど、最適な保育環境であるとは言い難く、今後の方針を早期に決定し、対応を進める必要がある。

市の財政が厳しく、公立園として新しい園舎を整備することが難しい状況にあることや、今後の北部地域における就学前児童人口の推移を考慮すると、その方針としては定員規模を現在の浜町保育園より縮小しての民営化などが選択肢として挙げられる。

いずれを方針とするかは、今後地域の就学前児童人口の更なる減少が想定されていることや、地域の実情、民営化した際の在園児への影響、経営することとなる法人の負担、**周辺地域への影響**などを勘案し、総合的な見地から決定されたい。